



アブラムシ類



コナジラミ類



ミナミキイロアザミウマ



# アドマイア<sup>®</sup>

## ①粒剤

幅広い適用作物と優れた残効性。  
定植時の植穴処理。  
少ない薬量で長〜い効き目!!

- 浸透移行性に優れ、長期間主要害虫を防除します。
- 防除回数を減らせるので省力化が図れます。
- 速効的に作用し、ウィルス病を予防します。



## ■適用害虫および使用方法

(2012年3月現在の登録)

作物名( )は適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数*	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数*	作物名( )は適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数*	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数*	
稲	ツマグロコバウンカ類	3kg/10a	収穫7日前まで	2回	散 布	3回(種もみへの処理または移植時までの処理は1回、本田での散布は2回)	ね ぎ ざ い ね ぎ ざ い ね ぎ ざ い	ネギアザミウマ	4kg/10a	定植時	1回	植溝土壌混和	3回(定植時の土壌混和は1回、散布は2回)	
かんきつ [苗木]	ミカンハモグリガ	20g/樹 (6kg/10a)	育苗期	1回	株元散布	—	は く さ い		0.5g/株			植穴土壌混和	3回(育苗期の灌水および定植時の土壌混和は合計1回、散布は2回)	
れんこん	イネネクイハムシ クワイビレアブラムシ	3kg/10a	植付時	2回	植溝土壌混和	3回(植付時の土壌混和は1回、植付後は2回)	か ぶ つ		3~6kg/10a			植溝土壌混和	3回(は種時の土壌混和は1回、散布は2回)	
ばれいしょ	アブラムシ類	4kg/10a	植付時	2回	散 布	3回(植付時の土壌混和は1回、散布は2回)	だ い こ ん		4kg/10a			植溝土壌混和	3回(は種時の土壌混和は1回、散布は2回)	
かんしょ	コガネムシ類				作条土壌混和	3回(植付時の土壌混和は1回、散布は2回)	は うれんそう			3~6kg/10a				植溝土壌混和
さといも	アブラムシ類	3kg/10a	は種時	1回	植溝土壌混和	3回(は種時の土壌混和は1回、散布は2回)	な ば な 類		3~6kg/10a			植溝土壌混和	なばなは2回(は種時の土壌混和は1回)、なばな以外のなばな類は1回	
豆類(種実)		1~2g/株	定植またはは種時		植穴土壌混和	3回(定植時およびは種時の土壌混和は合計1回、散布は2回)	は づ れんそう			0.5g/株			植穴土壌混和	4回(育苗期の灌水は1回、定植時の土壌混和は1回、散布は2回)
さやいんげん		2g/植穴	定植時		播溝土壌混和	3回(定植時およびは種時の土壌混和は合計1回、散布は2回)	非結球あぶらな科葉菜類						株元散布	3回(育苗期の処理は1回、散布は2回)
豆類(未成熟、ただし、さやいんげん、未成熟そらまめを除く)		3kg/10a	は種時		播溝土壌混和	3回(は種時の土壌混和は1回、散布は2回)	な ば な 類						植穴土壌混和	2回(定植時の土壌混和および株元散布は合計1回、散布は1回)
未成熟そらまめ		2g/植穴	定植時		植穴土壌混和	3回(定植時およびは種時の土壌混和は合計1回)	は づ れんそう						株元散布	1回
		3kg/10a	は種時		播溝土壌混和	3回(は種時の土壌混和は1回、散布は2回)	い ち こ						植穴土壌混和	2回(定植時の土壌混和および株元散布は合計1回、散布は1回)
きゅうり	アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ コナジラミ類	1~2g/株	定植時	1回	株元散布	4回(育苗期の株元散布および定植時の土壌混和は合計1回、散布および常温乾燥は合計3回)	パ セ リ		3~6kg/10a	培土時(基根伸長期)	1回	株元土壌混和	3回(培土時の土壌混和は1回、散布は2回)	
すいか	アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ	5g/株(3kg/10a) 1~2g/株(3kg/10a)	育苗期後半		株元散布	4回(育苗期の株元散布および定植時の土壌混和は合計1回、散布は3回)	こんにやく		6kg/10a	生育期(但し収穫21日前まで)	2回	葉菜散布	3回(培土時の土壌混和は1回、散布は2回)	
メロン	アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ コナジラミ類	1g/株 1~2g/株 2g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	3回(定植時の土壌混和は1回、散布は2回)	さといも [葉柄]		4kg/10a	植付時		植溝土壌混和	3回(植付時の土壌混和は1回、散布は2回)	
かぼちゃ	コナジラミ類 アザミウマ類	2g/株	定植時		植穴土壌混和	2回(定植時の土壌混和は1回)	やまのいも [むかご]		4kg/10a	植付時		散 布	1回	
にがうり	アブラムシ類	1~2g/株	定植時	1回	株元散布	4回(育苗期の株元散布および定植時の土壌混和は合計1回、散布は3回)	じゅんさい (じゅんさい田)		3kg/10a	収穫前日まで		散 布	2回(植付時の土壌混和は1回、散布は1回)	
まくわうり	アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴土壌混和	4回(定植時の土壌混和は1回、散布は3回)	た ば こ		3kg/10a (1g/株)	植付時		植穴土壌混和	2回(植付時の土壌混和は1回、散布は1回)	
ズッキーニ	アザミウマ類 コナジラミ類	2g/株	育苗期後半	1回	株元散布	3回(育苗期の株元散布および定植時の土壌混和は合計1回、散布は2回)	花き類・観葉植物(きく、ばら、ペチュニア、レザファンを除く)		2g/株 (6kg/10a)	生育期	5回	株元散布	5回	
トマト	アブラムシ類 コナジラミ類	1~2g/株	定植時		株元散布	3回(育苗期の株元散布および定植時の土壌混和は合計1回、散布は2回)	き		3kg/10a	定植時	1回	植穴土壌混和	5回	
ピーマン	アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ	1~2g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	3回(育苗期の株元散布および定植時の土壌混和は合計1回、散布および常温乾燥は合計2回)	レザファン		1g/株(3kg/10a)	定植時	1回	株元土壌混和	5回	
とうがらし類	アブラムシ類	1g/株	育苗期後半		株元散布	3回(育苗期の株元散布および定植時の土壌混和は合計1回、散布および常温乾燥は合計2回)	ポインセチア		1g/株(3kg/10a)	生育期	5回	株元土壌混和	5回	
なす	アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ	1~2g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	2回(定植時の土壌混和は1回、株元散布は1回)	ば ら		2g/株 (6kg/10a)	生育期	5回	株元散布	5回	
にら	ネギアザミウマ	4kg/10a	収穫30日前まで		株元散布	2回(定植時の土壌混和は1回、株元散布は1回)								

\*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

## 1粒剤の上手な使い方

### ■植穴処理の場合



### ■育苗期後半処理(ポット処理の場合)



## ■注意事項

- 本剤をだいこんに使用する場合は、間引き菜、またはつまみ菜として食用には供さないで下さい。
- きくのミナキイロアザミウマに使用する場合は、生育期後半に使用すると効果が不十分になる場合がありますので生育期前半に使用して下さい。
- 植穴処理で栽培本数が多い場合には、10アール当たり3kgを目安に適用の範囲内で1株当りの使用量を調整することが望ましいです。
- こんにやくに使用する場合は、桑園から3m以上離して下さい。
- トマト、ミニトマト、なす、ピーマン、とうがらし類、きゅうり、メロンの育苗期後半に使用する場合は、直径9cm以上のポットで育苗した苗に使用して下さい。それ以外での使用は薬害を生じる恐れがあるので避けて下さい。
- かんきつに使用する場合には、今期に収穫の見込みのない苗木に使用し、散布後灌水をして下さい。効果発現が遅れることがありますので、対象害虫発生前に使用して下さい。

- 本剤を稲及びれんこんに散布で使用する場合に、灌水状態で均一に散布し、散布後少なくとも7日間はそのまま灌水状態を保ち、落水、かけ流しはしないで下さい。
- ミツバチに対して影響がありますので、絶対に桑葉にかからないようにして下さい。
- ミツバチに対して影響がありますので、ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにして下さい。本剤の処理後、ミツバチの訪花活動に影響を及ぼす恐れがありますので注意して下さい。
- 養蜂が行なわれている地区では周辺への飛散に注意するなど、ミツバチの危害防止に努めて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量・使用時期・使用方法を守って下さい。本剤を適用作物群に属する作物またはその新品種に使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所など関係機関の指導を受けることが望ましいです。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

(F-1021 12.03.IS)

# バイエルクロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 www.bayercropscience.co.jp

お客様相談室: ☎ 0120-575-078 (9:00~12:00, 13:00~17:00) 土・日・祝日をのぞく